

『東急100年史』

この度は、大変名誉ある「優秀会社史賞」にご選出いただき、誠にありがとうございました。社史に携わった人間にとって、本賞は目標というよりも憧れ・夢に近いものであり、これまでの苦労が報われた思いがします。

当社は、渋沢栄一翁を発起人とする田園都市株式会社を源流とし、1922年に設立された目黒蒲田電鉄株式会社を起源としています。不動産開発と鉄道事業を両輪に、バス、百貨店、スーパー、ホテル、映画館、CATVなど、皆さまの暮らしや生活を支える「まちづくり」全般を担う企業グループとして成長してきました。

この『東急100年史』の編纂は1973年発行の『東京急行電鉄50年史』以来、50年ぶりとなりました。長い歴史の空白期間を埋めるべく、創立100周年の約10年前からデジタルアーカイブのシステムを構築しました。調べたい内容を瞬時に取り出せる仕組みを整え、時間勝負の編纂作業においては頼もしいパートナー的な存在となりました。逆にこのシステムが無かったら、編纂はどれだけ困難を極めたであろうかと思えます。

編纂過程での最大の工夫は、WEB版と製本版の2種類をハイブリッドで「正史」としたことです。WEB版は章単位で順次HP上で公開しました。これには2つの大きな効果があり、一つは章ごとに少しずつ公開することで、チームメンバーが肩の荷を少しずつ下ろせ、重圧から解放されていく感覚が得られたこと。もう一つは、HPで先行公開することで、一般の皆さまの目に触れて様々なご指摘を頂戴することができ、製本版の発行に向けて校正の精度や効率が格段に上がったことが挙げられます。

最後に、年史編纂には専属チームができてから製本版の発行まで8年を要しました。その間、多くのOBの方々、社外有識者の皆さま、社内協力者の皆さまなど、優に300人を超える皆さまに関わっていただきました。この度の受賞は、皆さまのご尽力、ご支援の賜物であり、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

東急株式会社

